

ZOOしずおか

第64号

2008

静岡市立日本平動物園



スローロリス

東南アジアに分布し、ゆっくりした動きをします。クリクリの目、ずんぐりした体型をした原始的な猿の仲間です。当園での繁殖は今回が初めてです（11月14日繁殖）。

目次

- 動物園ニュース 1~7
 - ・マレーバクの繁殖
 - ・動物たちの主な出来事
 - ・生まれた主な動物・亡くなってしまった主な動物
 - ・来園・出園した動物たち
 - ・主な行事や出来事
- 平成19年度 秋の写生大会 8~9
- 種保存会議を開催して 10~11
- 全国動物園技術者研究会発表レポート 12~13
- 幼児動物教室で伝えられること 14~15
- うちの子紹介vol.3 (オオアrikui編) 16
- 出張動物園ガイドやっています!! 17
- めざせ! 動物園博士 18
- N・Z・G・Vガイドボランティア 19
- 友の会だより・編集後記 20



表紙の写真
アフリカタテガミヤマアラシ
頭頂部から肩にかけて細長い硬い毛がタテガミのように立ち、また胸の後半は白黒のまだらの太い針が数多くあり、尾の針を振り動かし音をたて相手をおどかします。敵を攻撃する時は、体の針を立てて後ろ向きにぶつかります。

マレーバクの繁殖

川村 敏朗

約396日の長い妊娠期間を母親（ミライ）のお腹の中で過ごし、7月2日にマレーバクが無事出産しました。父親はアメリカのシンシナティ動物園の生まれ、母親は広島市の安佐動物公園の生まれで、このペアからは今回が3頭目の子供になります。過去2回の繁殖では2頭ともメスで、多摩動物公園と、とべ動物園に、それぞれお嫁さんとして元気に旅立っていきました。今回の子供は初めての男の子で、体重は、ちょっと細身の10.3kgでよく眠る子でした。2~3日の観察



生後2日目

で、あまりにもよく眠るので母乳の出が悪く、そのために衰弱し「元気がなく横たわっているのでは…」と心配し、母親の体をブラシでこすり横に寝かせ乳房を絞ったところ乳汁がにじみ出ていました。さっそく子を乳房に吸い付けさせその光景を見て安心しました。

生後2週間で、初めての散歩で放飼場に出しました。母親の後ろを用心深く、短い鼻を器用に動かし外の匂いを満喫しているように慎重な足取りで出て行きました。

生後2ヶ月過ぎて愛称募集を行い、応募総数489票の中から、元気に育つよう、また長生きして子孫繁栄に努めるよう「ゲン」と名付けました。

多数の応募ありがとうございました。

4月頃には、どこかの動物園にハナムコさんとして旅立つ予定です。別れのことを考えると気が重くなりますが、静岡市立日本平動物園出身の動物として元気に過ごしてほしいものです。



生後3週間目

動物達の主な出来事

- 7月1日 ツクシガモ 雛2羽は順調に成育中で、孵化時に比べて約6倍まで成長している。だいぶ大きくなってきて雛というよりか、幼鳥といった感じである。
- 2日 ジェフロイクモザル ホープ(♂)ハート(♀)リニューアルしたクモザル島へ移動する。1時間ほどで落ちつく。
- " マレーバク ミライ(♀)出産する。性別は♂。前回よりも小柄な感じ。子に対する面倒見は良好である。ミライの腹部を探るが授乳は確認できず。妊娠期間は391日から396日と思われる。
- 3日 アメリカバイソン マック(♂)体全体の2/3ほど、換毛が進んできている。
- " マレーバク ミライ(♀)出産後のためか、時折神経過敏になる。授乳確認出来ないため、横臥させ吸わせる。乳首から乳がにじんで出てくる。子(♂)体重測定10.3kg
- 6日 コモンマーモセット 母親が子供を著しく放置するのでやむなく人工保育に切り換える。
- 7日 アジアゾウ ダンボ(♀)昼、泥水を飛ばすのでターゲットトレーニングは行えず。シャンティ(♀)昼の調教時、プールに入るとラッパ音で鳴いて興奮する。
- 14日 トラ トシ(♂)ナナ(♀)朝、同居する。ナナは通路に座り、トシが近づくと威嚇する。トシは近づきすぎて、ナナにパンチを受け口の中を少し切る。大事には至らず。
- 16日 マレーバク 子(♂)初めての散歩用に、プールの水を抜き放飼場に出す。ミライ(♀)の後ろを追いかけよく動く。プールに落ち、自ら上がれずミライが心配する。
- 18日 フンボルトペンギン ヒナが初めて自力採食する。朝はアジを1尾くわえてなかなかうまく飲み込めず、ぐしゃぐしゃになった状態で採食したが、午後はアジの頭の方からしっかり採食した。おめでとう。
- 19日 ツチブタ (♂)朝の給餌時、巣穴から出ようとした際に腰が立たず、うまく起立ができなかった。



ライオンの入院

7月20日、ライオン エンジェル(♀)呼吸荒く、1週間も餌を食べなかったため、麻酔をかけて検査治療を行い、病院に入院しました。体重157kg。

- 26日 フェネック (♂)疑似交尾と見られる行動が、日中、数回見られた。そのため、(♀)の両腰が脱毛している。
- 8月2日 チリーフラミンゴ、ベニイロフラミンゴ 最近食欲旺盛で残餌が少ない。ただいま換羽中である。
- 3日 アメリカバイソン 放飼場に出血の跡あり。サンバエかアブによるものか。



オランウータンのお見合い

7月28日、ボルネオオランウータン ジュン(♂)キャンディ(♀)同居する。ジュンは入室すると、キャンディをずっと追い回していました。

- 8月3日 オグロワラビー ビビ(♂)がノノ(♂)に激しく追われる。終日隔離し様子を見る。ノノを夕方から小部屋に收容する。
- " シロサイ タロウ(♂)室内のシュート保護柵を曲げてしまい開閉困難になり、修理する。
- 15日 マレーバク ミライ(♀)日焼けのためと思われる首後ろ付近の皮剥け部分に軟膏を塗布する。



ムササビの展示

8月16日、人工保育のムササビ2頭を、夜行性館の展示室にて、元からいたメス1頭と見合いさせました。トラブルはありませんでした。

- 9月1日 ライオン エンジェル(♀)入院中、横になっている事が多いが、餌をかなり食べる。
- 7日 オオガラゴ (♀)が強く(♂)との闘争頻繁。(♂)跛行気味のため入院する。
- " ツクシガモ 幼鳥2羽共、肩、背部、胸部にかけて成鳥のような茶色の帯状の柄がそろう。
- 9日 カナダガン 病院で人工育雛した1羽を下の池に展示する。
- " パーバリーシブ (♂)徐々に体力が衰えて動きが緩慢になっている感じあり。
- 18日 アジアゾウ シャンティ(♀)採血する。
- 19日 ブロンズトキ マサキの根本付近の地面に営巣し、石を置いて擬抱卵する。時々ショウジョウトキに邪魔される。
- 24日 オグロワラビー キララ(♀)袋の中の子供の動き確認できる。
- " ライオン エンジェル(♀)体調が改善したので、退院してライオン舎に移動する。動き良い。
- " ビューマ 人工保育の子ども(♀)、放飼場で遊ぶことが多い。鳴くことも少なくなる。

- 9月26日 シシオザル トニーガッツ(♂)左足裂傷のため縫合手術をする。夕方から投薬する。
- 28日 フタユビナマケモノ (♀)出産するが死産だった。
- 29日 ダチョウ (♀)夜間にフェンスに激突し、両脚後側の皮が剥けるが大事には至らず。フェンスが曲がったため交換する。
- 10月1日 フタユビナマケモノ (♂)(♀)共に前後肢の爪切りを実施する。
- 2日 ベンガルヤマネコ (♀)巣穴に入ったままで外に出てこない。(♂)も気が立っている様子で、(♀)が出産した可能性が考えられる。
- 3日 シロガオサキ シム(♀)ミツオ(♂)展示のため病院から小型サル舎へ移動する。
- 6日 カナダガン 病院で育った2羽を園内の下の池に展示する。
- 8日 マレーバク ゲン(♂)座らせようとブラッシングをしても、まだ心を許さないのか腰を落としたまま逃げていく。
- 11日 エリマキキツネザル 子供を捕獲し、性別判定と個体識別のためのマイクロチップを入れる。
- " ツチブタ (♂)結膜部、露出が大きくなってきている。また、歩行時のふらつきが以前より目立つようになる。
- " ワタボウシバンシェ 子供を捕獲し、性別判定と個体識別のためのマイクロチップを入れる。
- 12日 マサイキリン トッポ(♂)本日かなり足が重く、ほとんど歩行しない。四肢全体に力がない様子である。「葉っぱのプレゼント」中、採食に来ないため入舎させる。その後1度座る。
- 13日 アメリカバイソン マック(♂)夕方、入舎前に出入り扉にアタックして扉が歪んでしまう。
- 15日 シンリンオオカミ サクラ(♀)フィラリアの予防薬を投与する。



ビューマの子供

10月15日、人工保育の子供(♀)2頭を、一緒に放飼場に移動する。いつも2頭でジャレ合って遊んでいます。体重は2頭共、約13kgでした。

- 17日 アジアゾウ シャンティ(♀)左前後肢の爪の割れが目立つようになったので、「伏せ」はさせないようにする。
- 20日 オオアリクイ 体重測定実施する。ジョッキー(♂)BW46kg、ムチャチャ(♀)BW67kg、チチカカ(♂)BW52kgであった。
- 24日 ジェフロイクモザル ホープ(♂)ハート(♀)2頭で飼育員に向かってくる。
- " ニホンカモシカ ナット(♂)角長が約2.5cmとなる。体格も母親の体高の半分以上となる。
- " ベンガルヤマネコ 朝、子が巣穴から顔を出している。それ以後は、巣穴に入ったままで姿を見せない。

- 10月28日 チンパンジー ビーチ(♀)ヨシミ(♀)レンゲ(♀)風邪が長引く。夕方から薬を変更したが全員飲んでくれない。
- 29日 ロバ ゴン(♂)割蹄する。



アムールヤマネコの子供
11月9日、アムールヤマネコの子供2頭、日中やや長い時間、巣穴より出ている。

- 11月10日 ルーセットオオコウモリ 子、2頭(中、小個体)親から離れている。他に成獣、25頭認める。
- 11日 シロサイ 採食動作良好。タロウ(♂)左側傷イソジン消毒ベチファリン散布。傷口にハエが食い込んでいる。
- 13日 オグロワラビー 赤子死亡する。朝、母親の袋から出てしまっていた。
- 14日 スローロリス 夕方、1頭出産。中型個体につかまり、授乳を確認。♀親は子の体を舐めて世話をしている。



オオガラゴの展示

11月22日、オスとの同居準備のため、病院に隔離していたメスを展示室に移動しケージ内にて見合いをする。

- 29日 マンドリル ♂1頭、♀2頭を、病院から中型サル舎へ移動し展示する。
- " マレーバク 採食動作良好。ミライ(♀)両後足治療。スムーズに横臥し、ゲン(♂)も母親の横にて横臥する。
- 12月5日 エリマキキツネザル (♀)が(♂)に圧力をまだ与えている。(♂)は怯えた声を度々発する。
- 10日 オグロワラビー (♀)鼻汁、よだれあり。左下顎治療(膿取り)。抗生剤、消炎剤、ビタミン剤投与する。小部屋に隔離する。

生まれた主な動物達

平成 19 年

- 7月 2日 マレーバク ……オス 1 頭
- 7日 シロガオサキ ……不明 1 頭
- 9日 カリフォルニアアシカ ……メス 1 頭(死産)
- 10日 ニホンカモシカ ……オス 1 頭
- 19日 レッサーパンダ ……不明 2 頭(発見時すでに死亡)
- 8月 12~14日 カリフォルニアキングヘビ ……不明 14 頭
- 15日 リスザル ……不明 1 頭
- 26日 リスザル ……不明 1 頭
- 31日 リスザル ……不明 1 頭(翌日死亡)
- 9月 1日 ワオキツネザル ……不明 1 頭(10日後死亡)
- 6日 コモンマーモセット ……不明 1 頭
- 28日 フタユビナマケモノ ……メス 1 頭(死産)
- 10月 2日(推定) アムールヤマネコ ……不明 2 頭
- 4日 リスザル ……不明 1 頭
- 11月 14日 スローロリス ……不明 1 頭
- 15日 ビグミーマーモセット ……オス 1 頭、メス 1 頭(死産)



ニホンカモシカ
7月10日、ニホンカモシカが繁殖しました。このペアでは2頭目の子供で、性別はオスです。名前は「ナット」と名付けられました。



リスザル
8月15日、26日、31日と10月4日にリスザルが全部で4頭繁殖しました。



コモンマーモセット
コモンマーモセットが繁殖しました。年に、2回くらいの頻度で繁殖しています。

亡くなってしまった主な動物達

- 7月 5日 シシオザル ……メス、発育不良、飼育年数 3 ヶ月
- 15日 ツクシガモ ……オス、心外膜炎、飼育年数 21 年 2 ヶ月
- 19日 ムササビ ……オス、循環障害、飼育年数 4 年 9 ヶ月
- 8月 28日 オオサンショウウオ
……メス、外傷性ショック、飼育年数 12 年 6 ヶ月
- 〃 オグロワラビー ……オス、腸炎飼育年数 3 年 9 ヶ月
- 9月 4日 エミスムツアシガメ
……メス、腸炎、飼育年数 15 年 6 ヶ月
- 6日 シンリンオオカミ
……オス、腹腔内失血死、飼育年数 9 年 10 ヶ月



オオサンショウウオ
8月28日、広島市安佐動物公園から来園したオオサンショウウオのメスが死亡しました。体長84cmの大きな個体でした。

- 9月 19日 サンタレムマーモセット
……オス、骨粗しょう症、飼育年数 12 年 2 ヶ月
- 25日 サンタレムマーモセット
……メス、肺炎、飼育年数 8 年 1 ヶ月
- 〃 エンペラータマリン ……オス、腸炎、飼育年数 6 年 6 ヶ月
- 10月 24日 アカテタマリン ……メス、心不全、飼育年数 1 年 1 ヶ月
- 11月 9日 ワタボウシタマリン
……メス、腸重積、飼育年数 1 年 5 ヶ月
- 16日 ビグミーマーモセット
……メス、衰弱、飼育年数 6 年 1 ヶ月
- 27日 アカハシハジロ ……オス、老衰、飼育年数 14 年 5 ヶ月



シンリンオオカミ
9月6日、カナダ生まれのシンリンオオカミのオスが死亡しました。真っ白い毛のパロンは、皆の人気者でした。

来園した動物達

- 7月 12日 オオガラゴ ……オス 1 頭(広島安佐動物公園より)
- 10月 2日 マンドリル ……オス 1 頭(浜松市動物園より)
- 〃 クロミマーモセット ……オス 1 頭(浜松市動物園より)
- 〃 プレーリードック
……オス 1 頭、メス 3 頭(円山動物園より)
- 26日 マンドリル ……メス 1 頭(到津の森公園より)
- 〃 マンドリル ……メス 1 頭(福岡市動物園より)
- 11月 4日 キンケイ
……オス 1 頭、メス 1 頭(高岡古城公園動物園より)
- 14日 キンランチョウ ……オス 2 頭、メス 2 頭(有竹鳥獣店より)



マンドリル (オス) (メス)
10月2日と26日に、マンドリルのオスとメスが来園しました。オスは、まだ若くメスより体が小さいです。

出園した動物達

- 9月 27日 エリマキキツネザル ……メス 1 頭(夢見ヶ崎動物公園へ)
- 〃 コモンマーモセット ……オス 1 頭(夢見ヶ崎動物公園へ)
- 11月 4日 インドクジャク
……オス 2 頭、メス 1 頭(高岡古城公園動物園へ)

主な行事や出来事

6月17日 チンパンジーのスポットガイド行われる。類人猿の仲間の紹介などに多くの来園者が耳を傾けた。



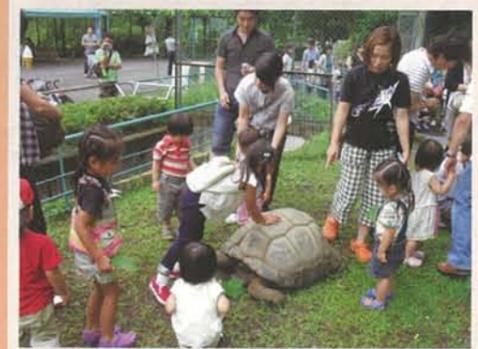
飼育員がいろいろなアイテムを使いチンパンジーの賢さを説明しました。

7月10日 NHK静岡放送が「防災シリーズ」と題して、動物園での防災対策を放映する。

15日 非常に大型の台風4号が午前中にかけ、静岡県に最接近する恐れがあるため、来園者の安全確保のため臨時休園とする。

16日 春の写生大会入選者授賞式が行われる。入選者32名、県知事賞他決定する。

〃 新企画イベント開催：「七夕企画～願い事叶えます」では、一日園長体験や各種動物とのふれあいの願い事を叶えました。



ゾウガメとのふれあい、ごはんプレゼント、記念撮影など実施、各イベントに多くの参加者が集まり、大盛況でした。

28日 南アルプスを世界遺産登録するための「第一回南アルプスサミット」がグランシップで行われ海野参事参加する。

8月1日 大阪エキスポランド遊具事故に端を発し、ダックス、ハイウェーカーなどの遊具施設の探傷試験が行われる。

9日 今年は、7月中旬より30度を超える真夏日が続く、例年より早く下の水禽池にアオコが大量発生し水面が緑色に変色する。

9月1日 平成19年度防災訓練行方。早朝の伝達訓練、消火訓練を行う。

〃 夜の動物園「にこにこ広場」ではスライドショーが行われ大盛況でした。



入浴剤を入れたかと思うほど水面全体が緑に変色する。

9月1日 オオアrikイの「ジョッキー」とファンボルトペンギンの「おじいちゃん」が平成19年度日本平動物園、長寿動物として表彰される。



表彰状授与後の「ジョッキー」の食事風景が何故か来園者の共感を呼ぶ。

17日 中型サル舎のマンドリル放飼場壁面に静岡大学美術サークル部のボランティアによる壁画製作完成する。

24日 動物愛護週間にちなみ、平成19年度動物慰霊祭が行われ、多数の来園者が参加し慰霊碑に献花を行う。



慰霊碑の前には、職員や多くの来園者から菊が献花されました。

主な行事や出来事

9月29日 今年最後の「夜の動物園」開催される。夜行性動物館では入館者が多く1時間ほどの行列ができる。

10月6日 新企画の日本平動物園、ケータイフォトコンテストが11月4日まで行われる。

16日 平成19年度(社)日動水主催全国ゾウ会議が宮崎フェニックス動物園にて開催される。後藤獣医師と花崎飼育員参加する。

11月1日 静岡県建設通信社が来年1月号に猛獣館建設記事を掲載のため取材行方。

3日 秋の動物園まつり開催中、ゾウにおやつプレゼントと計量記念日にちなみ、ゾウの体重測定イベントが行われる。「シャンティ」3,442kg、「ダンボ」3,404kgでした。



ダンボが担当者の指示で体重計に自ら乗ると観客から歓声が上がりました。シャンティは昨年比-140kgダンボは昨年比-94kg。

4日 5月25日に繁殖したビューマの子供2頭の命名式が行われた。市内の小学生の兄弟が名付け親となり、「マリー」と「マロン」に命名された。



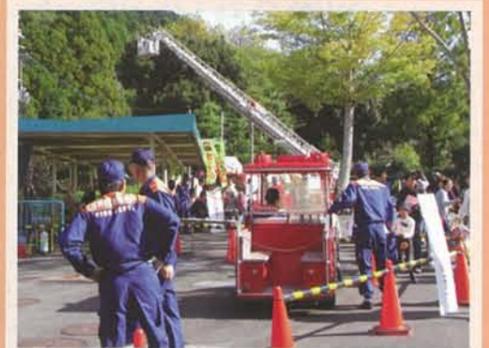
名前の由来は、マリーは2頭が遊んでいる姿が「マリ」の様なため、マロンが洋菓子のマロンブラッセに似た色。

5日 静岡市塗装看板業組合のボランティア活動として、会員22名により園内の柵、手すりなどの塗装作業が行われ、園内が大変明るくなり好評でした。

7日 (社)日本動物園水族館協会主催の第15回種保存会議が、7日、8日両日に巨り総裁の秋篠宮殿下を迎え静岡市で開催される。7日には、日本平動物園を御視察された。



園内統一した色彩でとても明るくなりました。



風向きの変化で煙幕がフラミンゴに流れ驚くハプニングが起きた時もありました。

11日 静岡市消防共催による「消防広場」が動物園で開催される。消防士体験などを通じ火災予防啓蒙が図られた。

12月4日 動物園正門エントランスに高さ6mのクリスマスツリーが飾られる。



本物のモミの木に飾られたイルミネーションは夕暮頃から一段と輝きを増し美しく映ります。



8日 琵琶湖博物館にて開催された動物園教育研究会に鈴木主任飼育員が参加、「動物園と学校との連携・レンタル動物の試み」について発表する。

平成19年度

秋の写生大会 入賞者



12月9日に
表彰式を行いました。



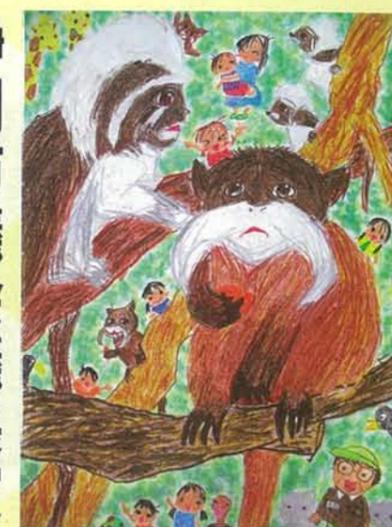
賞	学校	学年	氏名
静岡新聞社・静岡放送賞	焼津幼稚園	年長	仲野 絢香
静岡新聞社・静岡放送賞	静岡市立清水袖師小学校	1	内藤 成美
静岡新聞社・静岡放送賞	静岡市立清水入江小学校	1	松澤 里奈
静岡新聞社・静岡放送賞	静岡市立安東小学校	6	宇佐美 楓
テレビ静岡賞	千代田保育園	年中	望月 咲希
テレビ静岡賞	菊川市立小笠北幼稚園	年長	高地 修平
テレビ静岡賞	静岡市立葵小学校	2	池田 太朗
テレビ静岡賞	静岡市立東豊田中学校	2	稲葉 沙也香
静岡第一テレビ賞	こまどり幼稚園	年少	小岩井 光志郎
静岡第一テレビ賞	梨花幼稚園	年長	大仲 佑奈
静岡第一テレビ賞	富士市立富士中央小学校	3	黒川 諒登
静岡第一テレビ賞	静岡市立中島小学校	6	大橋 陽介
静岡朝日テレビ賞	わかば幼稚園	年少	関谷 拓実
静岡朝日テレビ賞	まどか幼稚園	年長	鶴橋 佳乃
静岡朝日テレビ賞	静岡市立安東小学校	2	宇佐美 恭平
静岡朝日テレビ賞	静岡市立清水不二見小学校	5	遠藤 里紗
金賞	富士市立富士中央小学校	1	黒川 柚葉
金賞		幼児	諏訪部 柚
金賞	静岡市立竜南小学校	1	望月 優希
銀賞	静岡市立長田東小学校	1	井原 百合子
銀賞	島田市立大津小学校	2	塚本 真菜
銀賞	静岡市立長田南小学校	4	岡田 竜磨
銅賞		幼児	三田 悠真
銅賞	焼津市立焼津南小学校	2	中野 優和
銅賞	静岡市立東豊田中学校	1	真島 あすか

静岡教育長賞



静岡大学教育学部附属幼稚園 年長
池田 創

静岡市議会議員賞



静岡市立大里中学校 2年
長島 弘奈

静岡市長賞



静岡大学教育学部附属静岡小学校 2年
井口 風温

静岡県動物保護協会会長賞



竜南保育園 年長
加畑 佑基

静岡市動物園協会理事長賞



清水折戸保育園 年中
宮城嶋 開人

「種保存会議を開催して」

はじめに

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」において、第15回種保存会議が11月7～8日の2日間にわたり開催されました。この会議は、希少な野生動物の保護や繁殖などを図るために（社）日本動物園水族館協会（以後「日動水」と略す）が主催となって隔年開催され、今年は当園が担当して行ないました。

今回、全国の動物園や水族館の職員はもちろん、環境省をはじめ、こうした希少種の保護に携わっている関係団体の方々など200名を超える人たちが一堂に集まりました。

会議の内容

[11月7日]

午前中は、「域内保全」をテーマに3つの課題講演がありました。1 題目は、環境省の北橋野生生物専門官より「日本の野生動物の現状とその保全（生息域内と生息域外の保全と協働）」と題し、国内での野生動物を取り巻く現状と絶滅に瀕した種をどのように守っていくかについて話題提供がなされました。



2 題目は、海の中道海洋科学博物館の岩田海洋動物課副長より「日動水協の域内活動」と題し、日動水に加盟している園館が、各地域で、どのような保全活動をしているかのアンケート調査結果が紹介されました。回答数は159園館中91園館で、生息域内保全活動を行っていたのは36園館で、地元で生息する希少種を園館独自に調査研究していました。

3 題目は、宮野大町山岳博物館副館長より「日本に生息する高山性のライチョウの現状」と題し、ライチョウを取り巻く環境変化とこれからの対策について報告されました。

午後は霊長類、食肉類など12類に分かれ、分科会が行われました。現在日動水では希少種の中から154種を選び、全国の動物園、水族館が手分けして、国内の血統登録を行っています。当園ではオオアライクイの個体登録（国内のどこで飼育されているかを管理）とレッサーパンダの個体の登録や繁殖のための移動を調整（レッサーパンダの仲人）していますが、こうした血統登録者が中心となって分科会を開き、登録を行っている希少種の繁殖計画や現在かかえている問題等を討議しました。



<爬虫類・両生類分科会 会場にて
ツボカビ症について討論中>



<日本茶インストラクターの方々からの
煎茶サービス。参加者もここで一息>

[11月8日]

午前中は、秋篠宮文仁親王殿下のご臨席のもと東邦大学の長谷川博教授による「絶滅危惧種アホウドリの保護」の特別講演がありました。

地球上の哺乳類の22%、両生類の31%が絶滅の危機に瀕している実態を説明し、乱獲で絶滅寸前だったアホウドリが、長谷川先生たちの努力により、数を増やし、絶滅の危機を乗り越えようとしている状況が報告されました。

続いて種別事例報告として、初めに福岡市動物園の安河内展示係長より「ツシヤマネコの飼育下繁殖の現状と課題について」の発表があり、国と動物園が共同で、ツシヤマネコの保護増殖事業を展開している状況が報告されました。

次に滋賀県立琵琶湖博物館松田専門学芸員より日本産希少淡水魚繁殖検討会15周年記念企画展示「いま、日本の淡水魚があふかない！」を全国52園館で開催し、希少淡水魚の紹介や検討委員会の活動を紹介したことが報告されました。こうした企画展を開催することにより、日動水が取り組んでいる種保存事業について来園者の目に触れ、より多くの人たちにその重要性を理解してもらう機会を提供することができたと説明がありました。

さらにキジ類の飼育数減少傾向を危惧し、井の頭自然文化園小林和夫副園長より「キジ類地域収集計画検討会の開催について」と題して、コウノトリ・キジ・ツル類別検討会で2006年より取り組んできたキジ類の保全の取り組みが紹介されました。

さらに昼食をはさみ、類別調整者より1日目の分科会で討議された内容が参加者に報告されました。こうして2日間にわたる討議とともに、23題のポスター発表があり、内容盛りだくさんな会議となりました。

おわりに

お天気にも恵まれ、参加者ならびに園全員の方で、無事会議を終えて、今はほっとしています。この会議で話し合われたことが、実を結び、日本の希少種はもちろんのこと血統管理している種が将来に向けて、子孫を増やしていけるように皆で努力していきたいと思っております。

秋篠宮殿下・動物園を訪れる

種保存会議御出席のため、静岡市を訪れた秋篠宮殿下が、7日、日本平動物園をご視察のため来園しました。園内では、ジャガーの「キコ」という愛称の由来に大変興味を示したり、ソウ舎での豪快な2頭のソウの水浴びや、牙の治療風景をご覧になりました。国内のレッサーパンダの種別調整を担当している当園において、国内外のレッサーパンダの現状や「風太」のエピソードなどの説明にも大変ご熱心に耳を傾けられました。



幼児動物教室で伝えられること

日本平動物園では、昭和46年より「幼児動物教室」を実施しています。これは「動物とのふれあいから命の大切さと優しい心を育てる」ことを目的としています。現在では年間約150園、5000名の児童を受け入れています。そこでどんなことを行っているのか、ひととおりのメニューを紹介します。

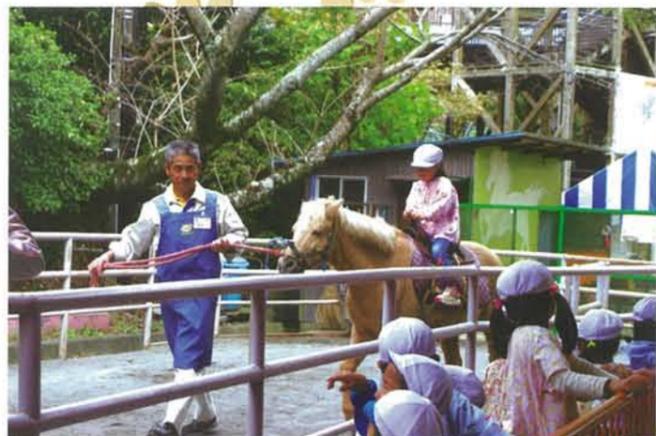


〔事前講習〕

保育士さんに教室の内容などあらかじめ注意事項を伝え、より一層充実したものを目指しています。

〔ポニーの乗馬〕

みんなワクワク!!
ハイ、ポーズ
馬に乗った感想は?



〔エサを与える〕

ヤギにキャベツをやってみよう。
ただし今日は特別だよ。ほかの日にはやらないでね。



〔ウサギを抱っこ〕

ながいお耳につぶらな瞳。
とってもカワイー。抱き方を教えるからよく聞いてね。

〔ヒヨコを持とう〕

正しいヒヨコの持ち方は?
みんな教えたとおりにうまく持てたかな?



〔ニシキヘビと記念撮影〕

ホントは先生もドッキドキ。
ヘビのサラッとした肌ざわりに新たな発見。

〔動物の鳴き声クイズ〕

なんの鳴き声かわかったかな?
けっこうむずかしいぞ。
当たった人に拍手!!



以上のような内容ですが、この教室を受けて育った子供たちが優しい大人になってくれることを願ってやみません。

これからも幼児動物教室に、御理解・御協力をお願いいたします。

今回紹介する動物は、オオアリクイのジョッキー君です。1981年に南米から野生個体で来園しました。当初は体重が4kgしかなく、一緒に来園したオオアリクイの背中に乗って(子供の内は親の背中にしがみついて生活します)いる姿が、まるで乗馬しているように見えるのでジョッキーと命名されました。今年で27才(推定)になり敬老の日には長寿表彰も受けました。最近は少々毛も薄くなり、動きもゆっくりになりましたが、まだまだ元気な動物園の人気者です。



ジョッキーのくせ！
出入り口で立ち上がり臭いを確認します。

家族紹介

- ジョッキー (♂お父さん、南米生)
- ムチャチャ (♀娘 日本平生 スペイン語で『少女』の意味)
- チチカカ (♂お婿さん 沖縄より来園 南米の『チチカカ湖』より命名)



左 チチカカ：右 ムチャチャ
いつも寄り添って仲良しです。



ジョッキーはマッサージが大好きです。
体を前後に動かして喜びます。

現在、オオアリクイは国内で7園15頭しか飼育されていない希少種です。そんな中、ジョッキーはこれまでに8頭の子宝に恵まれ、今でも5頭の子供が全国の動物園で活躍しています。

これからも元気でいてくれるよう願っています。

(オオアリクイ担当 河村 茂保 飼育歴3年)

出張動物園ガイドやっています!!

動物園では、社会教育機関の一環として、市内小・中学校の要望に応じ、肉食動物・草食動物など、いくつかのテーマにそって飼育員が授業を受け持つ、「出張動物園ガイド」を実施しています。

野生動物の魅力や生命の大切さなど、現場の飼育員ならではの視点から子供たちに様々なことを伝え、好評を得ています。

今回は市街から車で北へ30分程行った、松野小学校での一コマを報告します。



頭骨や毛皮などの資料。
「ホンモノ」の資料にみんな大注目!!



「ホンモノ」の「ヒョウ柄」に先生もくぎ付け。
実際にさわった感触はどうだったかな?



飼育員の話に熱心に耳を傾ける子供たち

◎今回の感想◎

松野小は町から少し離れた、まだ自然が豊かな所にあるせいか、子供たちも皆元気でのびのび育っている印象を受けました。そして一つとても感心したことがありました。まだ校内に入る前に2階の窓から私の姿を見つけた児童が、「こんにちは」と元気にあいさつをしてくれたことでした。

ちょっとビックリしたけれど、とても気持ちよく話をすることができました。どうもありがとう。

また行くよ、みんなまっててネ!!

(キリン・ゾウ飼育担当 松永 亨)



めざせ! 動物園博士 いよいよ開幕!

日本平動物園のさらなる魅力にせまる大型企画。
入門コースと4つの専門コースの計5コースを
クリアしてあなたも「動物園博士」になろう!

入門コース

動物園を一周するクイズラリー。
わかって、うれしい4択問題。答え
は必ず動物園のどこかに、今まで、
何となく動物を眺めていた人も、楽
しく動物を見て回ることができます。

【修了特典】

- ①入門コース修了認定証&特製記念品(当日発行!!)
- ②修了者のお名前を日本平動物園の機関誌「ZOOしずおか」に掲載(今回の修了者は2008年夏発行号に掲載)。
- ③「ZOOしずおか」を2回送付(お名前の載った号とその次の号)。専門コースのご案内も同時にお送りします。



専門コース

入門コース修了者を対象に、4種
類の専門コースを実施。半年に1つ
ずつ、順次実施予定です。4つ全て
を修了した人を、「動物園博士」と
して認定します。

【4つのコースの内容は?】

- ①All about the 日本平ZOO...日本平動物園の施設・歴史・これから。
- ②走って 飛んで 隠れて...動物の行動と体のつくりを観察。
- ③いつだって親は大変!...動物の子育てと成長について。
- ④現代版「ノアの箱船」...絶滅危惧種と種の保存について。

第1回入門コース実施予定

2月24日(日)10時~15時30分(雨天延期3月2日(日))

対象: おおむね小学4年生以上の個人か家族100組 ※園内の看板などを読めることが必要です。

参加料: 個人500円

家族(5人まで)1,000円

※この金額は、入門コースのみの参加料です。
※参加料はイベント当日にいただきます。
※入園料などは別途必要です。

申込方法: ハガキかFAXに、住所・全員の氏名・電話番号を書いて、
静岡市動物園協会へ送ってください。

申込切: 2月9日(土)

※参加者には事前に連絡ハガキをお送りします。
※定員に余裕がある場合、当日受付も予定しています。

申込先
問合せ

静岡市動物園協会「めざせ!動物園博士」係

〒422-8005 静岡市駿河区池田1767-6日本平動物園内
TEL 054-262-3252 FAX 054-262-3489

さらに詳しく知りたい人は、ホームページ <http://nzgv.web.fc2.com/hakase/> もご覧下さい。

N.Z.G.V

NIHONDAIRA. ZOO. GUIDE. VOLUNTEERS (日本平動物園ガイドボランティア)

「私たちは、動物ガイドや、ふれあいのお手伝いを通じて、来園者の皆さんと、動物園の仲立ちをしています。」



初めて触れる小動物の感触から生物や他人への優しさが伝わります



ウサギの心音とお子様の心音を聞かせながら命の尊さが伝わります



ウィークデーにはライオンの毛皮やトラ・キリンの頭骨や動物の糞
や鳥の羽を使った、ハンズオンガイドのイベントが行われます。

《お知らせ》

只今、ふれあい班では来園のお子様たちと一緒に、動物のふれあいを通して、
楽しみながら、心の優しさや、命の尊さを伝えていく仲間を募集しています!!

定例活動日→土・日・祝 10:30~12:00, 13:10~15:00

お手伝い頂ける方を心から歓迎致します。



友の会だより

2007年7月～2007年12月

この会は、動物や動物園に関する知識を深めるとともに、動物を愛し動物園が真に好きな人達の集まりです。月1回の例会、動物園行事にボランティアとして参加しています。

7月例会 7月8日(日)

○ポイントガイド「シロサイ」

八木獣医師による動物の異動の話聞いて、シロサイ展示場前にて飼育担当者より話を聞く。

個体別に性格・特徴など生態の説明。獣舎の寝室の大きさに驚き、乾草を中心としたエサの量と内容、食事は3回に分けて与えるなどの説明があった。

講師：八木獣医師、川村飼育員（参加者27人）

8月例会 8月12日(日)

○ポイントガイド「ペンギン」

八木獣医師の動物の異動と園内獣舎の一部改装に伴う獣舎の移動を聞く。

ペンギン舎前で飼育しているファンボルトペンギンの説明を聞いた後全員でアジのエサを与えて飛ぶ様な泳ぎを楽しく見学した。講師：八木獣医師（参加者15人）

9月例会 9月16日(日) 午後6時から

○夜の動物園見学会

昨年同様に動物園の夜間開園に合わせてその一日を友の会例会として行った。

当日、17時30分から受け付けを開始、18時に八木獣医師の動物の異動などの話を聞いて、一般来園者と同じとし、夜間開園中の夜の動物園を見学した。来園者が多く、園内は大混雑、駐車場は予約制で満杯、シャトルバスが満員と大盛況の夜間開園だった。（参加者35人）

10月例会 10月14日(日)

○ポイントガイド「オオアリクイ」

アリクイ舎の中へ入る。寝室に1頭寝そべっている。近くで見る。エサは、動物園で配合して作られていた。ドロドロの液状になったエサを容器に入れ差し出す。長い舌でペロペロ上手に食べる。オオアリクイのエサやりを初めて間近で見て感激する。

講師：河村飼育員（参加者28人）

11月例会 11月11日(日)

○ポイントガイド「ニホンカモシカ」

動物の異動の話聞いて、カモシカの放飼場へと移動する。国の特別天然記念動物であるが、野生では畑荒しなど問題が言われている。飼育している個体は飼育員によく慣れている。繁殖もしている。

講師：花崎飼育員（参加者21人）

12月例会 12月9日(日)

○「こども動物園で勉強」

動物の異動を聞いて、こども動物園へ、モルモットとヒツジにエサやりをしながらその生態について聞く。ウサギ舎で出産の話があり、生まれたて（1日）の赤ちゃんを出してくれる。

講師：八木獣医師、土屋飼育員（参加者21名）

ボランティア活動

○ファン感謝デー フェイスペインティング

11月4日(日)

友の会ボランティア1人

○9月24日(月・休日)

動物園で行われた動物慰霊祭に会長が参列し、慰霊の言葉を捧げる。



— 編集後記 —

●「偽装」という言葉が後を絶たない世の中ですが、「本物」の動物たちのすばらしさや凄さ、大切さをもっと伝えていきたいです。 H.T

●お正月も年をとるごとにワクワク感がうすらいできてしまったが、動物園は「ワクワク感」こそ命。そんなワクワクをいつまでも…… M.T



カラダのために。笑顔のために。



**ヤクルト、それは世界で飲まれている
プロバイオティクス。**

プロバイオティクスとは、腸内で働き、健康維持・増進に役立つ善玉菌のことです。腸に生きたままプロバイオティクスをとどけるヤクルトの乳製品は、その働きが認められ、今や日本をはじめ世界27の国と地域で飲まれています。



中央静岡ヤクルト販売株式会社
静岡市葵区瀬名川3-3-43 〒420-0913 ☎054(264)8960
お申込み、お問合せフリーダイヤル ☎0120-86-8960
(受付時間 8:30~16:45 日曜・祝日除く) ハロー ヤクルト

創業以来おいしさを守り育てて



▲幕の内弁当

茶処静岡の名物弁当
◀茶めしべんとう



株式会社 東海軒

〒422-8033
静岡市駿河区登呂6丁目5番35号
TEL(054)287-5171
FAX(054)287-5172



●交通のご案内

東名ハイウェイバス
をご利用の場合

★「東名日本平」
下車徒歩約5分



車で
ご利用の場合

★東名静岡I.C.より約20分
★東名清水I.C.より約25分



電車・バスを
ご利用の場合

新静岡バスターミナル
⑦番線から



JR東海・静岡駅
⑬番線から
★動物園線で「終点」下車
★静岡日本平線日本平行きで
「動物園入口」下車徒歩約3分
★池田山団地行きで
「動物園入口」下車徒歩約3分

●地図



たのしいふれあい

★子ども動物園の
ごあんない★

動物たちとふれあう中で、子どもたちに動物をかわいがるやさしい気持ちや、自然に対する愛好心が、芽生え育ってほしいとの願いから「子ども動物園」が設けられています。



★幼児動物教室も
やっています★

うさぎ、ひよこなどのふれあい。ポニーの乗馬など主として年長児対象に、子ども動物園にて約1時間の幼児動物教室を実施しています。実施期間、申し込み受付期間など、詳しくは、日本平動物園(054-262-3251)迄お問い合わせください。